

AGC Review

AGC 旭硝子

【株主通信】 Vol.25

2014年9月発行

証券コード：5201



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2014年上半期の業績は、自動車用ガラスを中心としたガラス事業や化学品事業の出荷増に加え円安の影響で増収となったものの、液晶用ガラス基板の販売価格下落等の影響を受け、前年同期に比べて減益となりました。なお、中間配当金については、期初予想どおり1株当たり9円といたしました。期末配当金についても、期初予想どおり1株当たり9円を予定し、年間配当金は1株当たり18円を予定しています。

現在私たちは、真に強いAGCグループの実現に向けて、中期経営計画 **“Grow Beyond-2015”** の下で、全社的な体質強化などさまざまな課題に取り組んでいます。ガラス事業については、これまで実施した施策の効果により、この第2四半期に黒字化を達成し、2014年上半期の営業利益は前年同期に比べて70億円改善しました。役員・従業員一同、この中期経営計画期間中に何としても業績を反転させ、成長基盤を強化・定着させるべく、全力を尽くす所存です。

今後ともAGCグループになお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

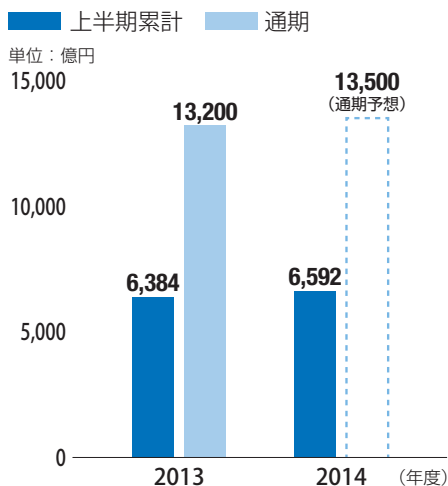
代表取締役兼社長執行役員CEO

石村和彦

業績ハイライト

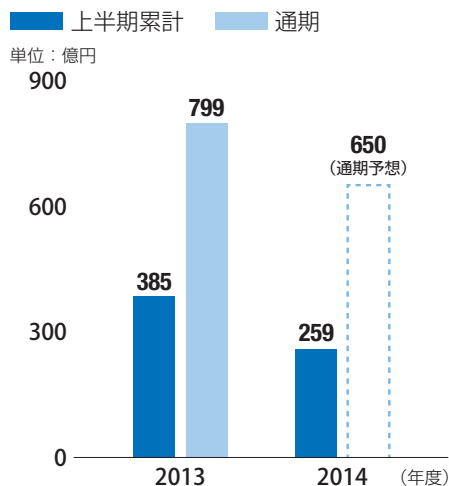
売上高

6,592億円(前年同期比3.2%増)



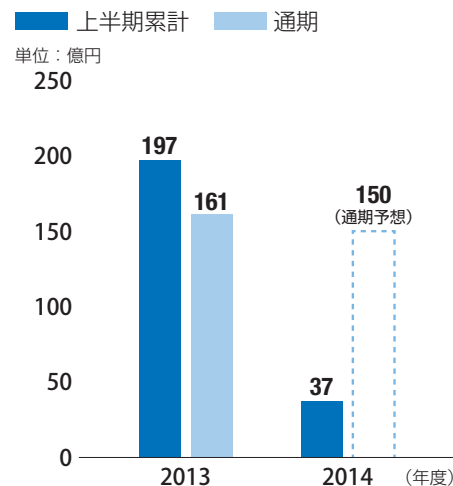
営業利益

259億円(前年同期比32.7%減)



親会社の所有者に帰属する当期純利益

37億円(前年同期比81.3%減)

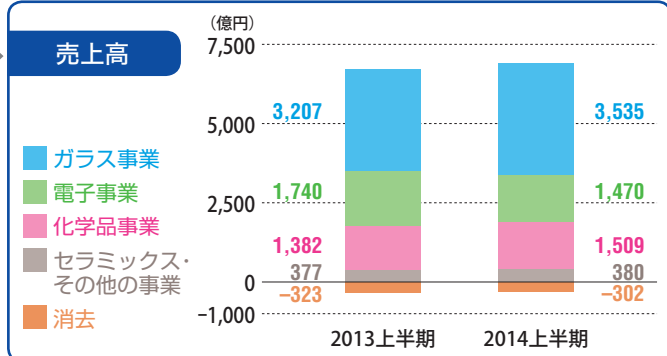


連結純損益計算書(要旨)

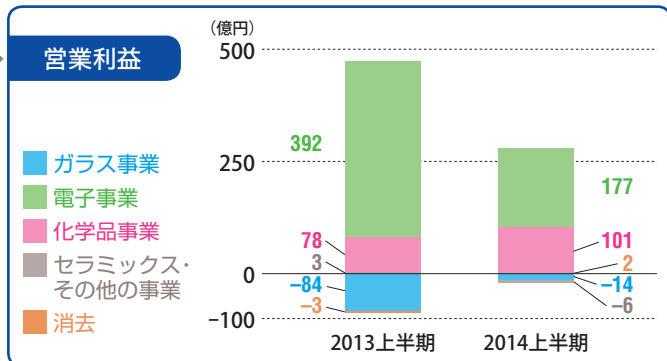
単位: 億円

	当上半期累計 (2014年 1月 1日~ 2014年 6月30日)	前年同期 (2013年 1月 1日~ 2013年 6月30日)	増減額	増減率
売上高	6,592	6,384	207	3.2%
営業利益	259	385	△126	△32.7%
その他収支	△60	△73		
事業利益	199	312	△113	△36.2%
金融収支	△19	1		
税引前利益	180	313	△133	△42.4%
法人税等	119	103		
当期純利益	61	210	△149	△70.9%
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	37	197	△160	△81.3%
非支配持分に帰属 する当期純利益	24	14		

売上高



営業利益



連結財政状態計算書(要旨)

単位: 億円

	当上半期末 (2014年 6月30日)	前期末 (2013年 12月31日)	増減額
流動資産	6,700	6,822	△122
非流動資産	13,795	14,385	△589
資産合計	20,495	21,206	△711
負債	9,427	9,755	△328
資本合計	11,068	11,451	△383
負債及び資本合計	20,495	21,206	△711

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位: 億円

	当上半期累計 (2014年 1月 1日~ 2014年 6月30日)	前年同期 (2013年 1月 1日~ 2013年 6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	759	876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449	△756
フリー・キャッシュ・フロー	310	120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221	△75
現金等に係る換算差額	△21	112
現金等の増加額	67	156

AGCグループは、「持続可能な社会に貢献している企業」を目指し、新興国を中心としたグローバル展開、環境負荷低減を図る新製品の市場投入などを積極的に推進しています。

高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」を使用したスタジアムが「シンガポール・スポーツハブ」に完成

今年6月に完成したシンガポール最大の総合スポーツ施設「シンガポール・スポーツハブ」。その中のナショナルスタジアムに、AGCの高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」が採用されました。開閉式の屋根を持つこの多目的スタジアムは、アフレックスを使用することにより約20,000m²の可動エリアにおける重量負荷を軽減しました。さらに、フィルムは光の拡散性にも優れるため、天井を利用した色鮮やかなライトアップが可能です。

アフレックスは、ブラジルで開催された2014FIFAワールドカップの会場であるアレナ・ペルナンブコをはじめ世界各地の大規模スタジアムや万博会場などに数多く採用されています。東南アジア地域の大型スタジアムとしては、同スタジアムが初めての採用となりました。



アフレックスを屋根に使用した
ナショナルスタジアム

竜巻被害を受けた埼玉県越谷市へ自然災害用防災ガラスを寄贈

昨年9月に発生した竜巻により甚大な被害を受けた埼玉県越谷市への支援活動として、AGCは指定避難場所の南越谷小学校体育館に地震や突風、台風などの自然災害発生時に効果のある防災ガラス約143m²を寄贈しました。

AGCは全国指定避難場所の安全対策普及を目的として防災ガラスを寄贈する「ガラスパワーキャンペーン」を2005年10月から実施しており、越谷市への寄贈が35カ所目となります。同市への寄贈にあたり、2月7日に越谷市役所にて越谷市長列席のもと贈呈式が行われました。

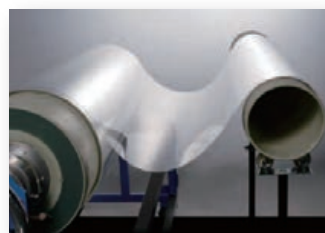


2月14日に南越谷小学校で
行われた出張授業の様子

フロート法による世界最薄0.05ミリ厚のガラスのロール巻きに成功

AGCはフロート法で生産するガラスとして世界最薄となる0.05ミリ厚の超薄板ガラス「SPOOL®」を、長さ100メートルのロール状に巻き取ることに成功しました。

超薄板ガラスは、透明性や耐熱性、電気絶縁性などガラスの優れた特長に加え、軽量でフレキシブルであるため、フレキシブルディスプレイや有機EL照明など最先端のアプリケーションへの採用が期待されています。さらにロールに巻くことで、現在お客様で開発が進められているロール・トゥ・ロール方式の生産プロセスに対応することも可能になります。AGCは今後も幅広い高度なガラス製造技術を追求め、お客様に最適なソリューションを提供します。



ロール巻きにした
0.05ミリのSPOOL



0.05ミリの超薄板ガラスSPOOL

その他のトピックス

- 3月** 地球温暖化への影響を従来品の約6分の1に低減可能な空調機器向け新冷媒「AMOLEA™」を開発
- 6月** 世界を代表するSRI格付評価会社RobecoSAM社のCSR格付けで「Silver Class」に選定
- 7月** サウジアラビアのObeikan社と合併で建築用ガラス加工会社を設立し、中東へ初進出



サウジアラビアのObeikan社と
AGCガラスカンパニーのマネジメント陣



©AGC ASAHI GLASS



「競技者用ベンチ向けガラスルーフ」の公式アンバサダーである、元ポルトガル代表のサッカー選手ルイス・フィーゴ氏

AGCは2014 FIFAワールドカップの12会場すべてに、ワールドカップ初の競技者用ベンチ向けガラスルーフを提供しました。

昨年のFIFAコンフェデレーションズカップ2013で実現した世界初のガラスルーフベンチから一年。AGCはさらに進化したガラスルーフベンチをワールドカップに提供しました。

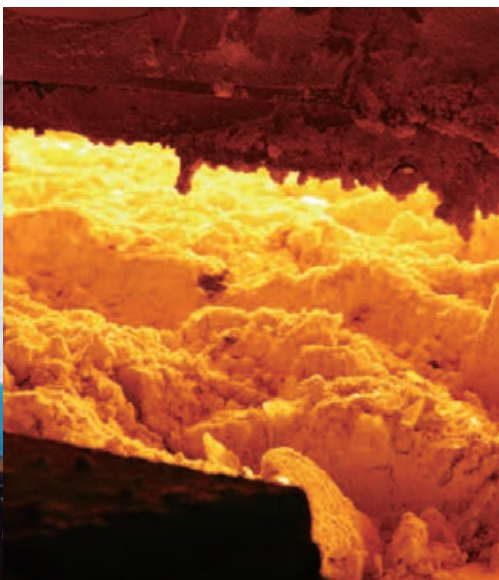
ガラスルーフに使用したのは世界最高レベルの強度を有する化学強化ガラス「Dragontrail® X」。スマートフォンやタブレットPCなどのカバーガラスとして広く使用されているガラスです。さらにベンチ背面のガラスには、ガラスが存在しないかのように観客に試合を楽しんでもらうため、反射率を通常の13分の1に抑える低反射コーティングを施しました。他にも、フッ素樹脂「ルミフロン®」でコーティングしたFRPフレーム、シートやクッションなどの主要部材もAGCの素材で構成されています。

建築用、自動車用、電子・ディスプレイ用のすべての領域で培ったガラスや化学の技術を有するAGCだからこそ実現した、まさにAGCの総力を結集したガラスルーフベンチ。観客

席からのクリアな視界、選手の安全性と快適性、そしてスタイリッシュなデザインを兼ね備えたガラスルーフベンチが、世界最大のスポーツイベントに新たな価値をもたらしました。

今後もガラス、電子、化学品の製品・技術を有するAGCにしか生み出せない新たな価値を提供していきます。





AGC
Factory
Tour

工場見学会を開催します！

株主の皆さまに当社事業内容をより一層ご理解いただく目的で、工場見学会を開催します。今回は建築用ガラスなどを生産している鹿島工場にて実施します。この機会にぜひご応募ください。

工場見学会の概要

実施
日時

2014年11月28日(金)

実施
場所

旭硝子(株)鹿島工場

集合・解散場所：11：00 東京駅周辺集合／18：00 東京駅周辺解散

※昼食は当社でご用意いたします。

※解散時間は、当日の道路状況等により前後する可能性があります。あらかじめご了承ください。



■ 費 用

無料（東京駅までの交通費は株主様にてご負担ください）

■ 応募要項

対象者：2014年6月30日現在、当社株式を1,000株以上ご所有の株主様（ご参加は株主様ご本人のみとさせていただきます）

募集人数：30名（同伴者はご遠慮ください）

応募方法：郵便ハガキに以下のとおり必要事項をご記入の上、送付をお願いします。（郵送料は株主様にてご負担いただきますようお願い申し上げます）

締 切：9月30日（火）＊当日消印有効

送 付 先：〒100-8405 千代田区丸の内1-5-1
旭硝子（株） 工場見学会係

■ ご応募前の確認事項

※ご応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果につきましては、当選された方に2014年10月末日までに郵送にてお知らせいたします。

※ご応募の際に、記載事項にもれ等の不備がありますと、ご応募を無効とさせていただきますので、ご注意ください。

※ご見学時は1時間程度の徒歩移動、バスの乗り降りおよび階段の昇り降りがございます。あらかじめご了承ください。

※工場内での撮影は禁止とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

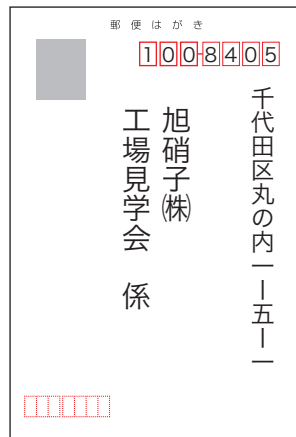
お問い合わせ先：

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
工場見学会専用窓口 株主様サポートセンター

電話 0120-676-545（通話料無料）

土、日、祝日を除く 9:00～17:00

- ① 株主番号（8桁）
- ② お名前
- ③ 郵便番号
- ④ ご住所
- ⑤ 性別
- ⑥ 年齢
- ⑦ 電話番号



鹿島工場の概要

温暖な気候、豊富な水資源、東京から80km圏という優れた立地条件を備えた鹿島臨海工業地帯。この中央に位置する旭硝子鹿島工場は、1975年、ソーダ製品、有機化学製品の製造を開始。1981年には世界最大規模の建築用板ガラス製造設備が稼働し、総合工場としての歩みを始めました。その後、フッ素系ファインケミカル、高性能ガラス等へ活動領域を広げ、たゆみない成長を続けています。



鹿島工場 | DATA

所在地 〒314-0195 茨城県神栖市東和田25
操業開始年 1975年
従業員数 約600名(2013年12月末現在)
主な事業内容 建築用板ガラス及び化学品の製造

ワールドカップ開幕戦の舞台 「アリーナ・コリンチャンス」のすべてのガラスを供給



CREDIT: AMADEU CARVALHO

アリーナ・コリンチャンスの西ファサード

2014 FIFAワールドカップに登場したAGC製品はガラスルーフベンチではありません。

AGCは、開幕戦の舞台となったサンパウロのサッカースタジアム「アリーナ・コリンチャンス」のオフィシャルサプライヤーに選定され、同スタジアムに使用されたすべてのガラスを供給しました。

アリーナ・コリンチャンスは、約3,400m²の世界最大のビデオスクリーンである東ファサード、シュートが決まり波打つゴールネットを湾曲したガラスで表現した西ファ

サードに加え、VIPラウンジや手すりにガラスが多用された外観が特長で、計72,000m²、1,500トンものガラスが使用されています。同スタジアムのガラスはすべてAGCの高透過ガラス※「Planibel Clearvision」が採用されており、スタジアムの特長ある外観をさらに引き立てています。

※高透過ガラス…ガラスに含まれる鉄分を減らすことで、ガラス特有の青みをおさえた、極めて透明度の高いガラス。

会社概要 (2014年6月30日現在)

商号 旭硝子株式会社
 英文社名 Asahi Glass Company, Limited
 創業 1907年9月8日
 設立 1950年6月1日
 資本金 90,873,373,264円
 本社所在地 〒100-8405 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 (新丸の内ビルディング)
 電話 (03) 3218-5096
 連結対象子会社数 203社(うち海外166社)

株式関連情報

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会開催月 3月
 基準日 定時株主総会 12月31日
 期末配当 12月31日
 中間配当 6月30日
 公告方法 電子公告
 [公告掲載アドレス] <http://www.agc.com>

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 [電話お問合せ・郵便物送付先] 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(0120) 232-711 (通話料無料)

株式に関するお問合せ先

証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
口座を開設されている証券会社等	三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関) 電話(0120)232-711(通話料無料) ※特別口座に記録された株主様の住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取、口座振替に必要な各用紙のご請求は、特別口座管理機関のフリーダイヤル(0120)244-479(24時間・自動音声対応)をご利用ください。

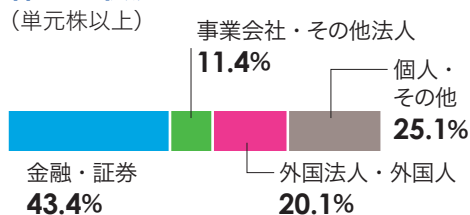
株式の状況 (2014年6月30日現在)

発行済株式総数 …………… 1,186,705,905株
 株主数 …………… 81,075名
 (単元株以上株主 …………… 69,608名)

上場株式等の配当等に関する「源泉徴収税率」のご案内

証券税制における軽減税率の適用終了に伴い、2014年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等には、原則として20% (所得税15%、住民税5%)の源泉徴収税率が適用されます。また、復興財源確保法(略称)により、2037年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されます。

株主の状況 (2014年6月30日現在)



	2013年1月1日から2013年12月31日まで	2014年1月1日から2037年12月31日まで
所得税	7%	15%
復興特別所得税	0.147%	0.315%
住民税	3%	5%
合計	10.147%	20.315%

- 源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
- 本ご案内は、上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について、一般的な情報をご提供するものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問合せください。
- 本ご案内は2014年6月時点の情報をもとに作成しています。